

建設リサイクル資材認定申請（新規）に係る関係書類

再生コンクリート二次製品（申請書に添付する目次）	新規申請 付箋番号
* 必須書類	
1 建設リサイクル資材認定（新規）申請書	1
2 建設リサイクル資材の供給区域の申告書 （第1号様式別紙3）	2 <small>（商社への販売の場合 は欄外に手書き）</small>
3 法人の登記事項証明書の写し （申請日前3箇月以内のもの。）	3
4 その他添付書類等（会社案内 申請資材に係る広報資料等）	4
5 公的試験機関が行う環境に対する安全性に係る試験結果 （申請日前3箇月以内に行ったもの。）	1 <small>（申請書による）</small>
6 再生資源の含有率の根拠となる計算式等の資料	6
7 再生資源利用状況報告書 （第1号様式別紙1）	7
8 公的試験機関が行う品質・性能に係る試験結果（申請日前3箇月以内 に行ったもの。）又は適合する規格に係る認定書の写し	8 <small>（JIS規格適合性 認定書の写し）</small>
9 ①製造工場の全体配置図及び②写真、③再生資源及び④申請資材の保 管場所、⑤申請資材の製造工程の概要等の資料	9
10 品質管理体制に係る資料	10
* 以下については該当する場合提出が必要です。	
11 申請者以外が製造した再生資源を用いた資材は、再生資源納入証明書 （第1号様式別紙2）	11 <small>（納品書など）</small>
12 JIS マーク製品においては、その製造工場が記載された日本産業規格 適合性認証書の写し	8
13 ISO9001 認証取得工場においては、認証の写し及び認証の範囲を示 す書類の写し	
14 その他公的団体の認証評定取得工場においては、証明書類の写し	
15 資材を生産・販売するにあたって法令に関する証明が必要な場合は、 その証明書の写し	
16 グリーン調達基準の別表第8に定める再生木質ボードの評価基準に掲 げる再生資源以外の木質材料を用いた再生木質ボードの資材は、その合 法性及び持続可能性を証明する資料	

目次どおりに付箋をつける

建設リサイクル資材認定申請書

令和〇年〇月〇日

神奈川県県土整備局長 殿

ポスト投函日

申請者 住所 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇
 氏名 〇〇株式会社
 代表取締役 〇〇 〇〇
 電話番号 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇

神奈川県県土整備局建設リサイクル資材評価実施要領第5条第1項の規定により、建設リサイクル資材の認定を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

申請資材の概要	認定対象品目名	再生コンクリート二次製品	
	申請資材名	〇〇リサイクル両面歩車道境界ブロックA・B・C	
	寸法・規格等	(A) 150/190×200×600 (B) 180/230×250×600 (C) 180/240×300×600 JIS A 5371	
評価基準の適合状況	環境に対する安全性	<input checked="" type="checkbox"/> a 特別管理（一般・産業）廃棄物を使用していない。 <input type="checkbox"/> b 公的試験機関の試験結果、公的規格等 （ <input checked="" type="checkbox"/> c 石綿を原料としていない。 <input type="checkbox"/> d 建物の内装材にあつては、建築基準法施行令第20条の7の技術基準で使用制限を受けない材料である。	
		再生資源	再生資源の内容
	再生資源	再生資源の含有率	15%（別紙のとおり）
	品質・性能	<input checked="" type="checkbox"/> 製品が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （神奈川県土木工事共通仕様書 第2編 第2章 第7節「2-2-7-1 一般事項」及び「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」） <input checked="" type="checkbox"/> 再生資源が県土整備局公共工事グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準に適合している。 （「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」）	
品質管理	製造工場	名称、所在地及び電話番号	〇〇株式会社〇〇工場 神奈川県〇〇市〇〇町〇〇 (〇〇〇)〇〇〇-〇〇〇〇
		公的規格等の取得状況	<input checked="" type="checkbox"/> JISの認証を取得している。 （「JIS A 5371 プレキャスト無筋コンクリート製品」） <input type="checkbox"/> ISO9001の認証を取得している。 （ <input type="checkbox"/> その他 （
	品質管理責任者	工場長 〇〇 〇〇	
その他	再生資源以外の木質材料の使用の有無 <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		

対象外

環境負荷	<input checked="" type="checkbox"/> 再生資源を含有しない資材の比べ、エネルギー消費量の増大、地球温暖化物質の増加、大気汚染、水質汚濁、騒音、悪臭、有害物質の排出等環境負荷が著しく増大しない。
申請者の欠格事由	<input checked="" type="checkbox"/> 廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律第137号)第7条第5項第4号イからヌまで及び第14条第5項第2号イからヘまでのいずれにも該当しない。
申請理由等	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 資材の追加・変更 <input type="checkbox"/> 工場の追加・変更 <input type="checkbox"/> 再生資源の追加・変更 <input type="checkbox"/> その他評価基準の適合に影響を及ぼす変更 認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号 ()
その他添付書類等	・会社案内 ・申請資材のパフレット

連絡先	郵便番号	〒000-0000	
	申請者の住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)	神奈川県〇〇市〇〇町〇〇	
	申請者の氏名(法人にあっては、名称)	〇〇株式会社	
	担当所属	名称	〇〇課〇〇係
		電話番号	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
FAX番号		〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	

- 備考
- 「環境に対する安全性」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「品質・性能」欄は、該当する□内にレ印を記入の上、()内に試験結果(原則として、申請日から起算して3か月以内に公的試験機関で行ったもの。)や適合する規格等を記入してください。
 - 「製造工場」欄は、申請資材の製造工場すべてを記入するとともに、該当する□内にレ印を記入の上、適合する規格等を記入してください。
 - 「評価基準の適合状況」の「その他」欄は、評価基準の品目が再生木質ボードまたは再生集成材・合板に該当する場合に、該当する□内にレ印を記入してください。
 - 「環境負荷」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請者の欠格事由」欄は、該当する場合は、□内にレ印を記入してください。
 - 「申請理由等」欄は、該当する□内にレ印を記入し、新規申請以外は、()内に認定資材名、寸法・規格等、認定期間及び認定番号を記入してください。
 - 「その他添付書類等」欄は、上記以外に添付する書類の名称を記入してください。
 - 連名で申請する場合は、「連絡先」欄は、申請者を代表する連絡先を記入してください。
 - 申請者は、正本及びその写しを提出してください。

履歴事項全部証明書

(申請日前3ヶ月以内に法務局で入手したもの)
共同企業体の場合、全ての会社分を添付してください

目次どおりに
付箋をつける

3

会社案内、製品パンフレットなど

(ホームページ掲載の該当ページをプリントアウトしたものでも構いません)

目次どおりに
付箋をつける

4

再生資源の含有率

a.再生資源として「骨材」を用いる場合

配合表

水 (kg/m ³)	結合材		細骨材 (kg/m ³)	うち再生資 源	粗骨材 (kg/m ³)	うち再生 資源	混和剤 (kg/m ³)
	セメント (kg/m ³)	混和材 (kg/m ³)					
			A	a	B	b	

(例)再生資源としてコンクリート用再生骨材 H を用いている*

$$\begin{aligned} \text{再生資源の含有率} &= (a+b) \div (A+B) \\ &= \text{〇〇}\% \geq 15\% \end{aligned}$$

目次どおりに
付箋をつける

6

b.再生資源として「混和材」又は「セメント」を用いる場合

配合表

水 (kg/m ³)	結合材		細骨材 (kg/m ³)	粗骨材 (kg/m ³)	混和剤 (kg/m ³)
	セメント (kg/m ³)	混和材 (kg/m ³)			
	C	D			

(例)エコセメントを用いているため全質量を含有率の算定に含める*

$$\begin{aligned} \text{再生資源の含有率} &= C \div (C+D) \\ &= \text{〇〇}\% \geq 20\% \end{aligned}$$

c.再生資源として「骨材」「混和材」「セメント」を用いる場合

配合表

水 (kg/m ³)	結合材		細骨材 (kg/m ³)	うち再生資 源	粗骨材 (kg/m ³)	うち再生 資源	混和剤 (kg/m ³)
	セメント (kg/m ³)	混和材 (kg/m ³)					
E	C	D	A	a	B	b	F

(例)再生資源としてエコセメント、骨材を用いている*

$$\begin{aligned} \text{再生資源の含有率} &= (C+a+b) \div (A+B+C+D+E+F) \\ &= \text{〇〇}\% \geq 10\% \end{aligned}$$

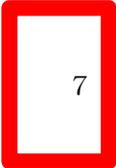
※使用している再生資源に応じて、記入内容を適宜変更してください

再生資源利用状況報告書

再生資源の原料の納入者の区分	<input type="checkbox"/> 申請者	<input checked="" type="checkbox"/> その他
再生資源の原料		第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」のとおり ^(注)
再生資源の原料の発生場所		(注)エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は、それぞれ「JIS R 5214 エコセメント」「JIS R 5211 高炉セメント」「JIS R 5213 フライアッシュセメント」と記入してください。
再生資源の原料の処理方法		
申請資材での年間の再生資源の使用量		〇〇 t（〇年度）
申請資材の年間の生産量		〇〇 t（〇年度）

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
- 2 「再生資源の原料の納入者の区分」欄は、該当する□内にレ印を記入してください。「その他」にレ印を記入した場合は、納入者ごとに第1号様式別紙2「再生資源納入証明書」を添付してください。

目次どおりに
付箋をつける



日本産業規格適合性認証書

有効期限内の最新の認証書の写しを添付してください

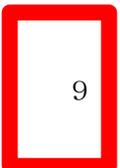
目次どおりに
付箋をつける

8

- ①製造工場の全体配置図
- ②製造工場の写真
- ③再生資源及び申請資材の保管場所
- ④申請資材の製造工程の概要図等



目次どおりに
付箋をつける



9

品質管理体制に係る資料

- 品質管理責任者が確認できる資料
- 社内の品質管理（製品製造時、製品規格、製品保管時など）に関する社内マニュアルなど

目次どおりに
付箋をつける

10

再生資源納入証明書

（申請者） 殿

納入者 住所
 氏名 代表取締役 ○○ ○○
 電話番号(○○)○○○-○○○○

日
 エコセメントや高炉セメント、フライアッシュセメントを使用する場合は納品書で代用

再生資源を次のとおり納入していることを証明します。

再生資源の原料	一般廃棄物
再生資源の原料の発生場所	各自治体の清掃工場
再生資源の原料の処理方法	一般廃棄物焼却灰を溶融
再生資源の内容	JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材
再生資源の納入量（実績及び納入予定）	○○ t

- 備考 1 再生資源とは、グリーン調達基準の別表第8に定める認定対象品目の評価基準（再生骨材等を除く）に掲げる再生資源をいいます。
 2 再生資源の原料が廃棄物に該当し、廃棄物処分業許可が必要となる場合は、当該許可証の写しを添付してください。

目次どおりに
 付箋をつける